



# 「語彙にいい」をふやそう！

南中図書館だより

2025年1月号

「乙巳(きのとみ)」の年が始まりました。「乙巳」は、十干十二支(じっかんじゅうにし)の42番めの干支です。

ここで質問です。みなさんは、「今年の干支(えと)は？」と聞かれたら、どう答えますか？

「え〜、簡単だよ、巳(み)」と答える人が多いでしょうか。間違いではありませんが、半分の正解です。

干支の支は、みなさんがよく知っている十二支で、12か月の順を表す呼び名です。

干支の干は、「十干」の干です。「十干ってなに？」という人もいるかな。

国立国会図書館HPにある、「日本の暦 第三章 暦のなかの言葉」の記載によると、

十干は、もともと、甲(こう)、乙(おつ)、丙(へい)、丁(てい)、戊(ぼ)・・・と、日を順に

10のまとまりで数えるための呼び名(符号)だったそうです。

この「十干」と「十二支」と組み合わせると、60通り(六十干支)となります。

一巡(いちじゅん)すると「還暦(かんれき)」となり、60歳になった人が、そう呼ばれますね。

「乙巳(いつし)の変」(645年)・「戊辰(ぼしん)戦争」(1868年)や「辛亥(しんがい)革命」(1911年)、「甲子園」(1924年)

など、暦が組み込まれた言葉は、ほかにも多くありますよ。

ところで・・・知っている言葉・使える言葉(=言葉の引き出し)は、いっぱいあった方がいいとはわかっているけれど、

「さあ、語彙を増やそう！」と言われると、何だかハードルが高いなあ〜と感じませんか？

でも大丈夫。難しく考える必要はありません。

友だちと学校でダジャレを言い合ったり、好きなアニメやマンガの言葉をまねしてみたり、

「楽しい」「うれしい」など、気持ちを伝える言葉を、違う言葉で言い換えてみたり・・・など

語彙力を増やすチャンスは、あちこちに転がっています！

もちろん、南中図書館にも、みなさんの「語彙力UP」のお手伝いをできる本が、いっぱいありますよ。



たとえば・・・

『学校では教えてくれない ゆかいな日本語』 今野 真二 河出書房新社

『語彙力図鑑』 齋藤 孝 日本能率協会マネジメントセンター

『感情ことば選び辞典』『美しい日本語選び辞典』 Gakken

『ネガボ辞典 ネガティブな言葉をポジティブに変換』 主婦の友社

・・・など



さて、南中のみなさんと迎えることができた、乙巳の今年ですが、どんな年かという・・・

乙は、植物が成長して広がっていくように、柔軟性と適応力をもって目標を達成する。

巳は、脱皮するヘビのように、再生と変化を繰り返し、大きく成長する。

といった、意味あいがありますから・・・





図書館だより de

Bibliobattle

# ビブリオバトル!

この本を、  
**「推し」**ます!

みなさん、前回(11月号)の「図書館だより de ビブリオバトル」に参加してくれて、ありがとう!

11月のチャンプ本には、投票参加総数 305票(複数回答のものも含みます)のうち、3割強の110票を獲得した、



『15歳のテロリスト』が選ばれました!

「少年犯罪」といった、重いテーマを扱った小説ですが、大変読み応えのある一冊ですよ。  
人気本なので予約必須ですが、まだ読んでいない人は、ぜひどうぞ!

A

『確実に上達する  
バスケットボール』  
鈴木 貴美一

自分がおすすめる本は、「確実に上達するバスケットボール」です。この本は、バスケの技や基本技術までが、すべて載っていて、バスケを始めたばかりの初心者を含めたバスケプレイヤーへの推し本です。  
(2年生)

B

『夜が明けたら、  
いちばんに君に会いに行く』  
汐見 夏衛

誰からも信頼される優等生、茜。しかし、隣の席の青磁にだけは、「嫌いだ。」と言われてしまいます。そして、この二人は、ある秘密を抱えていて... 青磁の秘密と、タイトルの意味を知るとき、感動します。  
(3年生)

C

『君の臍臓をたべたい』  
住野 よる

普通の男の子が、ある病気をもった同級生の女の子と 仲良くなっていく... という話です。女の子の病気と、二人の関係を隠しながら遊びます。女の子の病気のことや、男の子への思いに、とても感動します。  
(1年生)

D

『織田信長 コミック版日本の歴史』  
すぎた とおる(原作)

この本は、織田信長が、どんな人で、どんなことをやったのかわかる本です。歴史が苦手な人でも、この本を読めば、織田信長のことを、深く知ることができるので、読んでみるといいと思います。  
(3年生)

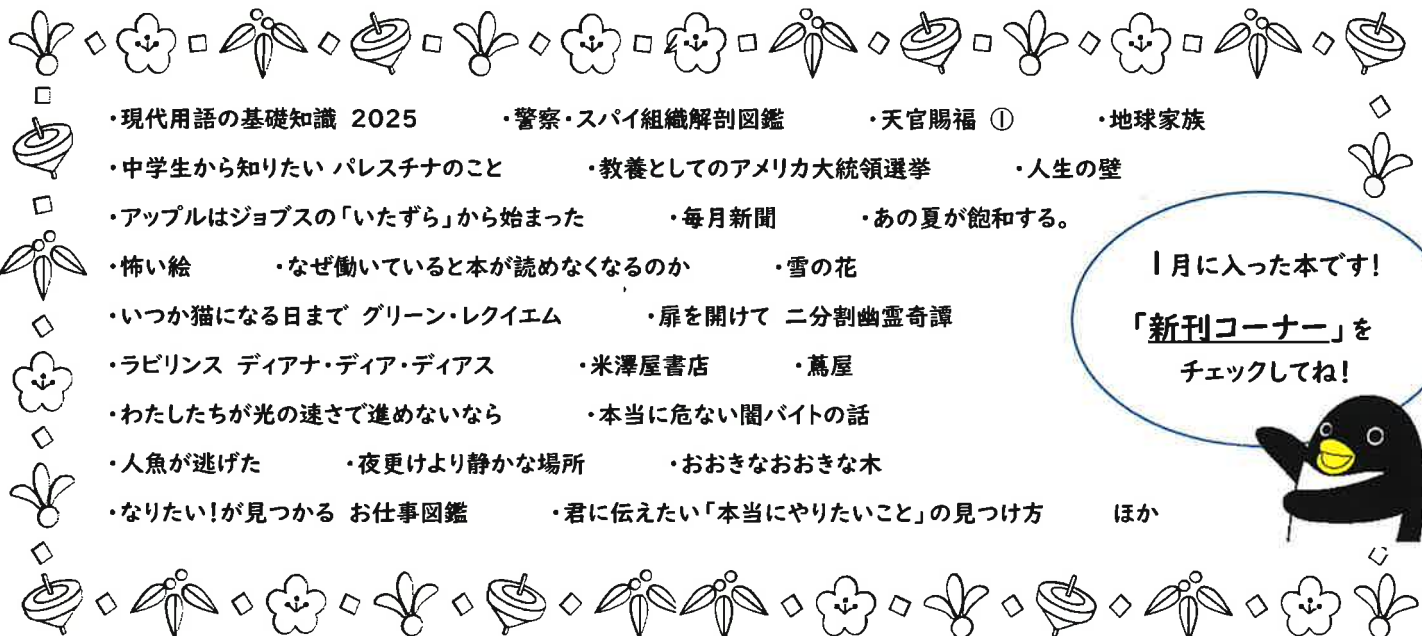
E

『あの夏が飽和する』  
カンザキ イオリ

この本は、命を懸けたひと夏の事件を描く、青春サスペンスの傑作です。私がこの本を選んだのは、すぐく心に残り、好きな楽曲の小説本だからです。涙が止まらなくなり、とても感動します。  
(1年生)



今回は、こちらの5冊です。  
みなさんの投票を  
お待ちしております!



- ・現代用語の基礎知識 2025
- ・警察・スパイ組織解剖図鑑
- ・天官賜福 ①
- ・地球家族
- ・中学生から知りたい パレスチナのこと
- ・教養としてのアメリカ大統領選挙
- ・人生の壁
- ・アップルはジョブズの「いたずら」から始まった
- ・毎月新聞
- ・あの夏が飽和する。
- ・怖い絵
- ・なぜ働いていると本が読めなくなるのか
- ・雪の花
- ・いつか猫になる日まで グリーン・レクイエム
- ・扉を開けて 二分割幽霊奇譚
- ・ラビリンス ディアナ・ディア・ディアス
- ・米澤屋書店
- ・蔦屋
- ・わたしたちが光の速さで進めないなら
- ・本当に危ない闇バイトの話
- ・人魚が逃げた
- ・夜更けより静かな場所
- ・おおきなおおきな木
- ・なりたい!が見つかる お仕事図鑑
- ・君に伝えたい「本当にやりたいこと」のを見つけ方
- ほか

1月に入った本です!

「**新刊コーナー**」を  
チェックしてね!

